

米国海兵隊：品位と名誉の精神



規律を守らせる米国憲兵隊

- ほとんどの米軍人、軍属、およびその家族は法令を順守し、誠実で敬意ある行動をしています。また、米軍人は友好的で責任を持ち、いたるところで受入国の地域社会に積極的に参加しています。
- 米軍は、責任ある行動を強化し、地域社会との友好関係を支援しています。
- 米軍人は地域の方々との良好な関係を維持しており、米軍としては、沖縄が単なる勤務地ではなく我が家へと変わるよう、基地外で実施される多数の地域交流イベントに積極的に参加することを奨励しています。
- 米海兵隊では、地域の方々との相互信頼と相互尊重を維持できるように多くの地域支援プログラムを実施し、参加しています。また、在日米海兵隊員は、毎年恒例の行事、スポーツイベント、ビーチ清掃活動、音楽祭等、年間2,500以上の地域交流イベントに参加し、地域との関係を深めています。
- 防護と防衛—米軍人は米国、日本、その他の同盟国や、友好国、支援を必要とする国々の防護と防衛を誓い、自ら志願して軍務に就いています。
- 軍事司法統一法典では、高い行動基準の強化が義務付けられています。
- 米軍人が公務外で被疑者となる事案については、日米地位協定の合意に従い、沖縄県警察が被疑者の取り調べや捜査を行えるようにすることで、受入国を尊重しています。
- 米軍人は、日本本土や沖縄で人命救助をしてきました。我々は、いつでも地域に貢献できる態勢にあります。

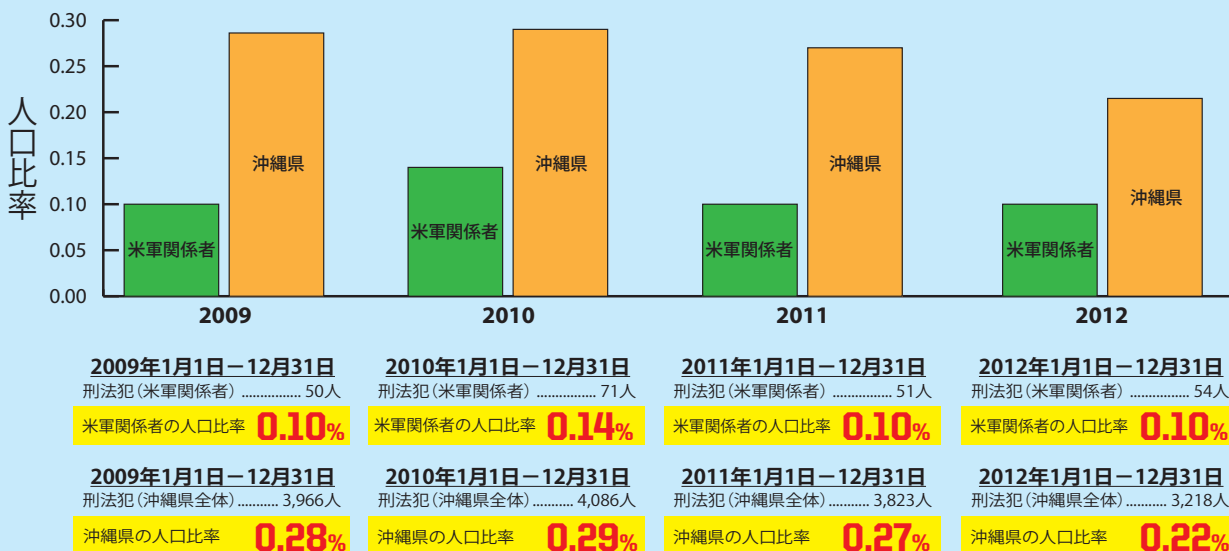
・ 沖縄県警察の統計資料を参照すると、沖縄における米軍関係者の犯罪率は県内で発生する犯罪率の半分以下となっています。米軍関係者の犯罪率は減少しています。

「沖縄県警察によると、軍人、軍属およびその家族の2011年の犯罪件数は、2010年に比べ40.8パーセント減少しており、過去10年間で最も低くなっています。日本政府としては、軍側の犯罪防止に向けた取り組みや良き隣人であることを評価すると共に、更なる成果を望んでいます。」

-外務省職員によるコメント

刑法犯の人口比率比較表

米軍関係者と沖縄県の刑法犯の人口比率の比較



(沖縄県警察の資料に基づく<http://www.pref.okinawa.jp/toukeika/index.html>)

海兵隊員が関与する刑法犯総数は低い水準ですが、それに甘んじることなく、今後も継続して責任ある行動の強化に努めます。

地域社会との関係が最も重要な関係であり、地域の安全確保に引き続き最善を尽くしていきます。皆様のご支持とご理解に感謝しております。